特定非営利活動法人

ローズリングかのや

平成 22 年度

定 期 総 会

と　き：平成 22 年 6 月 13 日（日）16:00 ～

ところ：鹿屋市中央公民館・視聴覚室

2010

平成２２年度定期総会
「新たなステージ、新たなビジョン」

「NPO 法人ローズリングかのや」は「元気なばらのまちかのやを創造する」を合い言葉に、平成 18 年 1 月に誕生して 5 年目を迎えております。昨年はこれまでの活動を少し広げて大隅の有志の方々と実施いたしました「大隅わっぜよかど博覧会」などは着実にばら園の知名度アップや大隅地域を知って貰う機会になったと思います。またこの度は大隅地域振興局様より「おおすみ活性化プランナー」としての表彰及び任命を受けましたことは、当法人に対する期待の表れでもあると気を引き締めております。

本年は皆様ご存じの通り、宮崎で発生した口蹄疫の為に、春のばら祭りを始めとしてこの地域のイベントのほとんどが中止となりました。リーマンショックの負の影響もまだ癒えていないこの状況の中で、私共ローズリングかのやは無論のこと、地域産業にも多大な損害や目に見えない影響があり、関係者のみならず物心両面で苦しい状況になっています。

このように最近の異常気象と期を同じくして世の中の先が全く予測できない、何が起こるか判らない状況の中、私共の目的である「元気なばらのまちかのや」づくりに向けて、よりスピードアップを図り、確実に成果を上げる為に、本年 2 月から「まちづくり事業部」と「収益事業部」の２事業部をつくり、それぞれに専属的に責任者をおいて取組んで頂いております。また「統括管理委員会」を設けて全体的な運営管理を行いながら新たな取組みも模索しています。

最近の生活実感や世の中の景気、企業の厳しい現実などから、グローバル世界の中での日本の置かれた立場、状況は全く新しいステージに立っているのだと思います。このように不透明で予測不可能な状況だからこそ我々が目指すべきものを明確にして、新たなビジョンを作り、そのロードマップを示して執行部をはじめとした関係者の方々が心を合わせて頑張って貰う必要があると思います。

これからの私共ローズリングかのやの役割は益々重要になり、地域の連携や観光振興、関連産業の振興発展を支える事が求められていると思います。本日の総会にご提示しております事業計画や 3 ヶ年ビジョンはこのような趣旨に沿ったものと考えておりますが、皆様のご意見、ご判断を頂き、その実現に向けて、共に真剣に取組んで行きたいと思いますので、これからもご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、皆様の今後のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

特定非営利活動法人ローズリングかのや
理事長　　尾曲　伸一

特定非営利活動法人ローズリングかのや平成２２年度定期総会

式次第

1. 開会の言葉
2. 理事長挨拶　　特定非営利活動法人ローズリングかのや　理事長　尾曲伸一
3. 来賓挨拶　　鹿児島県大隅地域振興局総務企画部　部長　池堂　和久　様
4. 総会成立宣言
5. 議長及び書記の選任　　議長【　　】書記【　　】【　　】
6. 議事

① 第１号議案　　平成 21 年度事業報告･････････････････････1～23ﾍﾟｰｼﾞ

② 第２号議案　　平成 21 年度収支決算報告・監査報告･････24～28ﾍﾟｰｼﾞ

③ 第３号議案　　平成 22 年度事業計画（案）･････････････29～36ﾍﾟｰｼﾞ

④ 第４号議案　　平成 22 年度収支予算（案）･･････････････････37ﾍﾟｰｼﾞ

⑤ 第５号議案　　３カ年ビジョンに関する件（案）･････････････38ﾍﾟｰｼﾞ

⑥ 第６号議案　　定款の変更に関する件（案）･････････････39～40ﾍﾟｰｼﾞ

⑦ 第７号議案　　議事録署名人の選任に関する件

【　　】【　　】

⑧ その他事項

7. 報告事項

① 事業部の設置と有給理事の件

② 2010 春ばら祭り中止に伴う経過と影響について

8. 議長退任
9. 閉会の言葉

議案第１号　平成２１年度事業報告

平成２１年度　事業報告書

特定非営利活動法人　ローズリングかのや

１．事業実施の成果

平成２１年度は、これまで取り組んでまいりました「ばらを活かしたまちづくり」を、より充実させる為に、「ばらを活かした誘客促進」及び「大隅広域体験型観光推進」等の事業を受託し、市民と行政の連携をより深めながら取り組みました。

「ばらを活かした誘客促進」事業では、「日本一を誇れるばら園」の魅力を多面的な視点で企画したプログラムを実施し、年間を通じて来園者に喜んでいただけるばら園をめざしました。また、ボランティア登録制度をつくり、これまでのボランティア活動が、より充実・継続して実施できることをめざしました。

「大隅広域体験型観光推進」事業では、大隅に点在している自然、文化、産業などの資源を活かす体験型観光の掘り起こしを行いました。その一環として、平成２０年度立ち上がった大隅半島各地の有志による自主的活動グループ「ワクワクすんくじら」と共に開催した「大隅わっぜよかど博覧会」は、鹿児島県の「かごしま着地型観光メニューモデル開発」の補助を受けて実施し、それまで点として存在した大隅の資源を、線でつなぎ、「大隅の元気」を創造していく為の大きな一歩となり、これから大隅全体を面として発信できるインフラに繋がったと思います。

２．事業の実施に関する事項（平成２２年４月１日～平成２３年３月３１日）

(1)特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事　業　内　容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
地域振興のための各種催事・研修・会議の企画・演出事業	１)ばらの栽培教室の継続実施	別紙資料①表1	かのやばら園	理事3名 委員10名 （修了生）	別紙資料①表1	３，３４３
	２）かのやばら園アカデミーの継続実施	別紙資料①表2	かのやばら園	理事２名 委員６名 （講師）	別紙資料①表2	
	３）ばらいっぱいコンクール（ばら祭り実行委員会主催）への協力	平成23年3月	かのやばら園及び鹿屋市内及び大隅全域	理事１名 委員６名 （協力団体）	鹿屋市民	

地域振興のための各種催事・研修・会議の企画・演出事業	４）ばらのまちサポーター支援 ・花*薔薇*会 ・ﾛｰｽﾞｺﾝｼｪﾙｼﾞｭ ・ばら園ｶﾞｲﾄﾞ支援	8 月～翌 3 月	鹿屋市	理事１名	ばらのまちサポーター ３３名 花*薔薇*会 ２９名	
	2）ばらを活かした誘客促進ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ事業　※１	8 月～翌 3 月	かのやばら園及び周辺地域	理事５名	参加者等 ３５０人	
地域産業振興のための商品の企画・立案・販売事業	1）新商品開発事業 ･鹿屋産ばら育成支援	4 月～翌 3 月	鹿屋農校 市内企業	理事５名 職員１名	４１名	
	2）地元農林水産物を使用した加工製品の推奨 ・ばらジャム ・よもぎ団子等		加工ｸﾞﾙｰﾌﾟ かのやばら園売店他		２０名	
	3）大隅の食と観光ＰＲ推進事業※２	6 月～翌 3 月	大隅地域全体	理事５名	１７０人	１１，６９６
	4）大隅広域体験型観光事業※３	8 月～翌 3 月	大隅地域	理事５名	参加者等 １５０人	
	5）大隅わっぜよかど博覧会※４	6 月～翌 1 月	大隅地域	理事６名	９０２人	
	6）地域産業振興コーディネート	4 月～翌 3 月	大隅地域全体	理事１名	大隅地域全体	
観光施設・スポーツ施設等の管理受託事業	1）受付人件費 2）売店運営事業 3）カフェ食堂運営事業 4）売店運営費	4 月～翌 3 月	かのやばら園及び売店・カフェ食堂	理事２３名	一般市民及び県内外の観光客 １０万人	６０，４７０
広告・宣伝に関する企画・立案・制作事業	1）会報の発行	10 月 翌 1 月	かのやばら園, 鹿屋市内	理事２３名	発行部数 各５００部	
	2）ばらを活かしたまちづくり計画推進委員会･かのやばら祭りへの参画	4 月～翌 3 月	かのやばら園	理事７名	一般市民及び県内外の観光客 １０万人	３２５

	３）誘客・販促事業 ・PR 用ポプリ配布 ・恋人の聖地 ・お正月もちつき大会	4 月～翌 3 月	かのやばら園及び売店・カフェ食堂	理事６名	一般市民 ２３００名	
	４）広報・宣伝 ・広報紙「みちくさ」の活用	4 月～翌 3 月	九州全体	理事２０名	発行部数８万部	
交流・文化活動の企画・演出事業	1）恋人の聖地活用事業	4 月～翌 3 月	かのやばら園	理事３名	挙式数７組	７２２
	2）ばらのオーナー ・第一期オーナー ・第二期オーナー	4 月～翌 3 月	かのやばら園	理事３名	参加数 ３００人 ２５０人	
酒類販売事業	1）酒類の販売に係る事業	1 月～翌 3 月	かのやばら園	理事１名	売上本数 １４１本	１，９６１
その他目的を達成するために必要な事業	1）会員増強 2）先進地視察	4 月～翌 3 月	かのやばら園売店・カフェ食堂	理事２３名	ローズリング会員 ２００名	８３

事業費：　支出合計　　７８，６００千円

※１，※３

「大隅広域体験型観光」「ばらを活かした誘客促進コーディネート」事業の両事業は、「ふるさと雇用再生特別基金事業」として、鹿屋市から委託を受け別紙資料②－１及び別紙資料②－２の内容で実施した。

※２

大隅の食と観光 PR 事業

本事業は、鹿児島県大隅地域振興局より「平成 21 年度豊かな大隅の食（農・林・漁）と観光 PR 推進委託事業」に関して平成 21 年 6 月に委託を受け、前述（２頁）の自主的活動グループ「ワクワクすんくじら」とのパートナーシップ事業として、別紙資料③の内容で事業を実施したものである。

※４

大隅わっぜよかど博覧会

本事業は、鹿児島県「かごしま着地型観光メニューモデル開発事業よかとこ博覧会」として別紙資料④の内容で開催した。

別紙資料①

表１　平成 21 年度第 6 期ばらの栽培教室　受講生 27 名

	日時	場所	内容	参加者
第 1 回	5 月 16 日(土) 10 時～12 時	ローズリングかのや事務所 2 階	開校式・ばらの基礎知識講座・新苗植え付け	22 名
第 2 回	6 月 20 日(土) 10 時～12 時	ローズリングかのや事務所 2 階	花がら摘み・病害虫防除・台風対策	24 名
第 3 回	7 月 25 日(土) 13 時～15 時	ローズリングかのや事務所 2 階	ガーデニング講座（柴さとみ氏）	23 名
第 4 回	9 月 5 日(土) 10 時～12 時	ローズリングかのや事務所 2 階	秋の剪定	21 名
第 5 回	10 月 17 日(土) 10 時～12 時	ローズリングかのや事務所 2 階	大苗の植え付け （鉢植え基礎講座）	21 名
第 6 回	12 月 19 日(土) 10 時～12 時	ローズリングかのや事務所 2 階	つるばら誘引・施肥（寒肥）	22 名
第 7 回	1 月 23 日(土) 10 時～12 時	ローズリングかのや事務所 2 階	接ぎ木	18 名
第 8 回	2 月 6 日(土) 10 時～12 時	かのやばら園多目的ホール	冬の剪定・冬の病害虫予防・閉校式	18 名

修了者(4 回以上出席)：25 名　皆勤賞：10 名

表２　かのやばら園アカデミー

【定期講座】

講座名	講師名	受講生数	講座回数	延べ人数
クレイアート	河原多美子	7 人	12 回	48 人
押し花	中垣内裕子	3 人	24 回	72 人
トールペイント	寒水真実子	5 人	24 回	120 人

【体験講座】

講座名	内容	参加者数
夏休み体験講座	折バラ・まが玉・薔薇石けん・香り作り・トールペイント・押し花・アクリルたわし作り・クレイアート(4 日間)	40 名
ｸﾘｽﾏｽ体験講座	ドライフラワーのクリスマスリース作り(1 日のみ)	15 名
ひな祭り体験講座	トールペイント・パッチワーク・木目込み人形・押し花・クレイアート(2 日間)	41 名

別紙資料②ー1

ばらを活かした誘客促進コーディネート事業業務委託

委託業務実績報告書

NPO法人ローズリングかのや

ふるさと雇用再生　特別基金事業 【産業振興分野】

ばらを活かした誘客促進コーディネート事業業務委託

ばら園で活動するボランティアの資質向上や参加型イベントの企画・実施に係わる機能強化を図り、ばら園への誘客促進を図るために下記の具体的取組を行う。

事業内容	(1)ボランティア登録制度の構築 (2)シーズンオフ時のイベント開催による誘客促進 (3)恋人の聖地ネームバリューアップによる若年層の誘客促進 (4)「かのやばら園」データベースの作成
委託先	NPO法人ローズリングかのや
新たな雇用創出数	1人
事業費	3,111,000円 （平成21年度）
事業の開始	平成21年7月1日～ 平成22年3月31日
事業で新規雇用した労働者の雇用期間	平成21年8月1日～ 平成22年3月31日
事業で新規雇用した労働者の募集方法	公共職業安定所へ求人申込を行い、応募者に面接及び筆記試験を行って採用を決めた。

事業内容(1)ボランティア登録制度の構築

事業目的

ローズリングかのやが推進するまちづくりや、かのやばら園でのボランティア要請の際に、適切な人材をスムーズに見つけ参加を呼びかけることで、ボランティア活動をより充実できる仕組みを作る。

実施内容

●登録制度の内容作成
　・ボランティア活動内容の選定・システム作り・募集要項(登録条件)の作成
●募集要項(添付資料1-1参照)および登録申込書(添付資料1-2参照)の作成
●登録者募集活動
　・チラシ(申込書付)の配布　計1,000部
　(かのやばら園・鹿屋市役所(各支所含む)・リナシティかのや・
　鹿屋中央公民館・鹿屋市立図書館・鹿屋商工会議所・ローズリングかのや会員・
　栽培教室受講生・大隅地区高等学校8校・かのやばら祭り2009秋)
　・ホームページ上での募集告知
　・広報かのや掲載
　・既存ボランティア(ばらのまちサポーター)への呼びかけ
●登録者データ整理作業および登録証の発行

事業の成果と今後の課題

●平成22年3月12日現在18名の登録申込を受付。一般の方はもちろん、高校生からも申し込みがある。鹿児島市からの応募者もあり、ネット上での募集の効果が出ている。
●現段階では、まだ少数の登録者しかおらず、今後のボランティア要請に対応できないので、募集活動・広報活動を再度計画し行うと共に、制度そのものを魅力あるものにする工夫が必要である。
●今後の運用について、要請先の検討や連携体制を整え、スムーズな人員の派遣を行えるようにする必要がある。

事業内容(2)シーズンオフ時のイベント開催

事業目的

ばら園はもとより、霧島ヶ丘公園の魅力を隅々まで紹介し、低コストでシーズンオフの誘客促進につなげる。

実施内容

●夏休み体験工房
　実施日：平成21年8月8日(土)・9日(日)、8月15日(土)・16日(日)
●クリスマスリース手作り講座
　実施日：平成21年12月13日（日）
●新春もちつき大会
　実施日：平成22年1月3日(日)
●ひなまつり手作り講座
　実施日：平成22年2月6日(土)13:30～16:30　2月7日(日)10:00～15:30
●霧島ヶ丘公園・かのやばら園風景さんぽ
　実施日：平成22年3月20日(土)

事業の成果と今後の課題

●シーズンオフ時のイベント開催により、来場者は多くなくても、お越しいただいた多くのお客様に満足感を与えることができた。
●どのイベントも広報活動が課題である。
●特に地元の方で、イベント参加で初めてかのやばら園にきたという方も少なくないので、花の無い時期のかのやばら園(霧島ヶ丘公園)のアピールの仕方、魅力あるイベント内容の企画を立てる必要がある。
●バラが少ない時期でも、エントランスにバラやほかの草花を飾り、少しでも楽しんでもらえるような、シーズンオフ時の長期的な対策を考える必要がある。

事業内容(2)シーズンオフ時のイベント開催

**夏休み
体験工房**

【実施講座】
●トールペイントで壁掛け作り(要予約)
●クレイアートでスイーツストラップ作り(要予約)
●押し花でしおり作り(要予約)
●布遊びでアクリルたわし作り(要予約)
●折ばら作り●まが玉作り●オリジナル香り作り●バラ石けん作り

**クリスマス
リース手作り
体験**

【実績】
事前予約:6名様
リース作り　500円―2 700円―7個　1,000円―5個
●リース作りは、好評を得ているため、今後も継続実施し、専門講師を招いて開催する等の展開も考える。

**クリスマス
リース手作り
体験**

【実施内容】
●杵と臼でもちつき体験　●ふるまい餅
●箏とフルートによるミニ演奏会
●ばららちゃんとクイズ大会
●演奏会が好評だったので、今度のシーズンオフのイベントとして単独の演奏会・コンサートの企画を考えていく。

事業内容(2)シーズンオフ時のイベント開催

ひなまつり手作り講座

【実施講座】

トールペイントのおひなさま2月6日のみ　講師：寒水	参加者—16名
パッチワークのミニ額2月6日のみ　講師：古里	参加者—7名
木目込み人形2月6日・7日2日間　講師：大窪・冨尾	参加者—5名
押し花はし袋2月6日・7日2日間　講師：中垣内	参加者—4名
クレイアートのおひなさま2月7日のみ　講師：河原	参加者—9名

霧島ヶ丘公園かのやばら園風景さんぽ

【実施内容】

●案内人：東川隆太郎(かごしま探検の会)・落司ひとみ(花＊薔薇＊会)

●コース

①田の神ロード　→　②展望台　→　③ふれあい通り　→
④南洲庵(茶室)　→　⑤ピクニック広場　→　⑥かのやばら園

●お弁当

2009ばら園に合うお弁当コンテスト(鹿屋商工会議所女性会主催)
最優秀賞作品志満八の「四季彩弁当」

●参加者　17名

事業内容(3)恋人の聖地ネームバリューアップによる若年層の誘客促進

事業目的

若年層を対象とした誘客促進を狙い、「恋人の聖地プロジェクト」を活用してかのやばら園を広くアピールする。

実施内容

●かのやばら祭りウェディング企画　実施日：平成21年11月15日(日)
ばら園での無料挙式を一般公募し、ばら祭り期間中に挙式を行うことで、「恋人の聖地」を広くアピールする。

●全国「恋人の聖地」活用地視察　期間：平成21年12月21日(月)～12月23日(水・祝)
「恋人の聖地」を利用したイベントや関連事業を行い、集客アップにつなげている各地の聖地を視察し、かのやばら園への若年層の誘客促進事業につなげるヒントやノウハウを学ぶ。また、今後、九州の聖地各地で連携したイベント等の開催の可能性を探る。

●らぶ＊らぶおさんぽでプレゼントゲット　期間：平成22年2月20日(土)～3月14日(日)
カップル向けスタンプラリーを実施し、若年層の誘客促進を行う。

事業の成果と今後の課題

●かのやばら園が『恋人の聖地』であるという認識が、来園者にも運営する私たちにも、まだまだ薄いことが分かった。

●『恋人の聖地』の認知度アップのために、カップル向けのイベントやデートコースの開発や、挙式開催の体制作り、恋人の聖地本部主催のイベントへの参加や全国の『恋人の聖地』との効果的な連携をとっていく。

事業内容(3)恋人の聖地ネームバリューアップによる若年層の誘客促進

ばら祭り ウェディング 企画

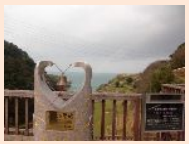
【カップル2組抽選(実行委員会で選出) 】
有馬様ご夫妻、屋地様ご夫妻

【本番(11月15日)】
・ばら祭り実行委員会・Wishメンバーと共に、当日の高校生ボランティアの協力もあり、有馬様、屋地様とも大きな問題もなく無事に終えることが出来た。

全国「恋人の聖地」活用地視察

【視察地】
海峡ゆめタワー(山口県)、福岡タワー・門司港レトロ(福岡県)波戸岬・浜野浦の棚田(佐賀県)

【参加者】
理事：河原多美子、鈴木三枝子　職員：北郷奏美



らぶ＊らぶ おさんぽで プレゼントゲット

【実施内容】
カップルに向けたばら園散策イベント
①2人の愛の力で園内に設けた2カ所のチェックポイント探し出し、専用シートにスタンプを押してもらう。
②専用シートに必要事項を記入してもらい投函BOXへ
③抽選で豪華賞品をプレゼント
(宿泊券付福岡タワー招待券・ばらグッズ詰め合わせ・参加賞オリジナル缶バッジ)

事業内容(4)「かのやばら園」データベース作成事業

事業目的

かのやばら園で活動する関係職員、ボランティアの説明資料となるばら園のデータベースを制作し、来園者の質問等に対して的確な回答が出来る体制を整え、質の高いおもてなしを提供できるようにする。また、データベースを今後様々な資料の材料として活用できるようにする。

実施内容

●バラ植栽場所調査
目的：データベース作成用に現時点での植栽品種を把握するため
調査日：2月14日・16日・20日・21日・23日・24日の6日間※10：00～12：00の2時間
調査員：ボランティア(花＊薔薇＊会の皆さん)

●植栽品種一覧冊子制作
目的：植栽調査の結果から品種の照合を行う際に利用する資料として使うため、また、個々の品種の詳細データを収集する際の参考にするため
【データ提供の依頼】
・鹿屋市役所公園課よりグランドオープン時の植栽品種一覧を提供してもらう。
・京成バラ園芸株式会社よりバラの写真画像(220点)を提供してもらう。
・花フェスタ記念公園よりホームページで公開している品種の画像および詳細データの引用を許可してもらう。

事業の成果と今後の課題

●ばら園開園当時の植栽品種と現在の植栽品種と植栽場所を確認することが出来た。
●データ提供を依頼したところの了解を得られたことで今後の構築が効率よく行えるようになった。
●今後の課題として、植栽調査の結果と開園当時の品種を照らし合わせ、現在植栽されている品種と植栽場所を明確化し、データ化する。

別紙資料②ー２

大隅広域体験観光推進
委託業務実績報告書

NPO法人ローズリングかのや

ふるさと雇用再生　特別基金事業 【産業振興分野】

大隅広域体験型観光推進事業業務委託

鹿屋市を拠点としたグリーンツーリズム等の体験型観光の受け入れ体制の構築を行うために以下の具体的取組を行う。

事業内容	1. 受け入れ農家等の発掘と体験指導者の育成 2. 大隅総合案内窓口（参加者の問い合せ先等） 3. 体験プランの作成、商品化、宣伝、PR
委託先	NPO法人ローズリングかのや
新たな雇用創出数	2人
事業費	3,174,000円（平成21年度）
事業の開始	平成21年7月1日～平成22年3月31日
事業で新規雇用した労働者の雇用期間	平成21年8月1日～平成22年3月31日
事業で新規雇用した労働者の募集方法	公共職業安定所へ求人申込を行い、応募者に面接及び筆記試験を行って採用を決めた。

（1）受け入れ農家等の発掘と体験指導者の育成

事業目的

- グリーンツーリズムにつながる受入農家及び人材を発掘する。
- ツーリズムを企画出来る人材を育成する。

実施内容

●九州ツーリズム大学受講

九州ツーリズム大学（熊本県阿蘇郡小国町北里）本課制として受講

・入学式：平成21年9月

・講座：平成21年9月～平成22年3月　全7講座

・卒業式：平成22年3月　卒業証書　授受

●鹿屋ツーリズム協議会設立への協力

・大隅農山漁村ツーリズム研修会共同開催	平成21年8月7日
・大隅農山漁村ツーリズム先進地研修共同実施	平成21年10月30.31日
・大隅農山漁村ツーリズム研修交流会共同開催	平成21年12月9日
・鹿屋ツーリズム協議会設立に会員として参加	平成22年3月24日

事業の成果と今後の取組

□成果

①ツーリズムを地域づくりに活かす為の、様々な立場や視点を学ぶことができた。

②講座を受けるだけでなく、毎講座の後に開かれた交流会等を通して、各分野の講師との交流を図り、今後連携していけるような人脈を得ることができた。

◎鹿屋ツーリズム協議会設立に向けて、鹿屋市観光振興課、鹿児島県大隅地域振興局総務企画課と共に研修会等を実施することにより、鹿屋・大隅地域でのツーリズムを展開する為の問題や課題、可能性を共有することができた。

□課題

◎「ツーリズムを活かして地域づくりを」と取り組もうとする方々に対して、ワークショップや研修会のサポートを行う。

◎かのやツーリズム協会の事業をリードし、グリーンツーリズムのインフラを整備する。

（2）大隅総合案内窓口（参加者の問い合せ先等）

事業目的

窓口業務を整理して、各種問い合せに対して迅速に対応出来る仕組みを作る

実施内容

- 大隅地区各行政機関の観光課、観光案内所へガイドブックの依頼　→H21・10初旬
- 各地域のガイドブック（１２種類、4市5町）の準備　→H21・10中旬
- 案内、質問内容の記録紙作成　→H21・10中旬
- 臨時総合案内所の設置、運営　→H21・10/17（土）開始（2009秋のばら祭りより土　日祝日
- 各地域ガイドブック配布集計表の作成　→H21・11/3（火）～11/29（日）
- 実施報告書の作成　→H21・12/3（木）～12/10（木）

事業の成果と今後の課題

- ばら祭り期間中に318名の来園者が総合案内所を利用し大隅各地域のガイドブック１２種類中６３１冊を配布した。
- 案内所で受け付けた問い合わせ及び要望等の一覧表を作成し、今後必要な資料、案内所設置に関する基礎資料を整理した。
- ばら園入園者にたいする問い合せ者の割合を計算した結果、入園者の７％～15％程度の範囲でガイドブック等の配布を行っているので、前年までの入園者予測により揃える部数を準備できると考えられる。

➢食事に関する情報（地元名品の購買出来る場所、昼食、夕食できる場所やその内容等）が不足している。お食事マップ等の作成が必要である。

➢地域の詳細地図（ゼンリン地図等）の備え付けが必要である。或いは必要場所をコピーして手渡しできる仕組みが必要である。

➢遠方からの来園者もあるので、温泉や宿泊施設等を案内出来る資料を準備する。

（3）体験プランの作成、商品化、宣伝、PR

事業目的

継続出来る観光プログラムを開発し、試行する

実施内容

体験型観光プログラムの発掘
- **大隅よかど博覧会**
- **大隅半島祭りマップ作成**

直行バスモニターツアーの実施
- **鹿児島中央駅直行バス開通記念モニターツアー**

エリアごとモニターツアー実施
- **大隅ここがよかどモニターツアー**

➢ 各事業の詳細は次項に記載

事業の成果と今後の課題

□ 成果

1. 今回初めて大隅全域に点在する観光拠点を面的に発掘できた。
2. 着地型観光のビジネス化に向けた資源、人材の存在が確認出来た。
3. 今後連携できる地域の人材、リーダーが発掘できた。

□ 課題

1. 直行バスは鹿屋からばら園も含め大隅各地域へ移動する手段の整備が必要
2. ばら園を中心とした観光ツアーなどのプログラムを企画できる人材の育成
3. 連携する地域の民間有志グループと行政の協働モデルをつくる必要がある

（3）体験プランの作成、商品化、宣伝、PR （事業別1ー1）

事業名

大隅わっぜよかど博覧会

実施目的と内容

かのやばら園の誘客促進を強化するため、大隅半島各地に点在する資源を活かした体験プログラムをメニュー化し、一体となった魅力作りを行うために以下の取組みを行った。

4月　✧「よかど博」の概要や時期、実施方法の検討
5月　✧体験プログラム発掘についての打合せ会議
6月　✧67体験プログラムの決定、ガイドブック作成開始。予約・手配のシステムの検討会議。
7月　✧ガイドブック配布の手配。ポスター・のぼり等の広報手配
8月　✧ガイドブック完成・配布開始、記者発表などのPR活動
　予約センター開設（15日～）　✧各プログラム現場最終確認周り（～9月11日）
9月　✧予約センターでの申込及び問合せ対応。✧「よかど博」開催と現地取材。（12～27日）
10月　✧アンケート・のぼりの回収集計作業。　✧各エリア毎の反省会（各地域で）
11月　✧全体反省会　✧各エリア毎会議　✧各プログラム収支報告書回収
12月　✧各エリア会議　（今回参加しなかったが、新たに加わる方を含めての会議）
　✧事業実績報告書作成　✧各プログラム収支精算書回収
1,2月 ✧各エリア会議　（各エリア間における連携を活かして、大隅全体の動きにするために）
　✧事業実績報告書作成
3月　✧全体収支精算書完成　✧事業実績報告書完成

事業の成果と今後の課題

- 大隅半島の自然や歴史・文化・農林水産業体験など地域資源を活かした着地型観光メニューとして、67の体験プログラムを発掘することができた。
- 各体験プログラムの主催者として地域の枠を超えて参加した各施設や団体間で、新しいネットワーク作りの一歩を踏み出すことができた。

➢ 各エリアが自主的な発信力を発揮し、相互に情報交換や人的交流を進める必要がある。
➢ 今回発掘された各プログラム及び新たに加わるプログラムを継続して実施できる為の検証と見直しを図り、それらを組み合わせた旅行商品化に向けた取り組み必要である。

別紙資料③

平成21年度「豊かな大隅の食（農・林・漁）と観光PR推進事業

事　業　実　績　書

事業の内容 （１）	**(1)大隅の食や農林水産業体験など、大隅地域の観光資源を活用した多様な観光メニューの検討とモデルコースの設定** 実施期間：平成２１年６月～平成２２年３月２５日 実施地域：大隅半島全域 実施内容： ①多様な観光メニュー（プログラム）の検討 ・大隅全体で取り組む事業「大隅わっぜよかど博覧会」を企画し、そこで紹介するプログラムとして、６７のメニューを掘り起こし、検討した。 ※添付資料（１）大隅わっぜよかど博覧会　ガイドブック ②モデルコースの設定 ・「大隅わっぜよかど博覧会」全体会での話し合いを基に、大隅半島を６つに分けた各エリアのプログラムを組み合わせたコースを設定し、モニターツアーを実施した。 ※添付資料（２）大隅ここがよかどモニターツアーパンフレット
事業の経過	６月　✧大隅各地で６７体験プログラムの掘起し及び情報収集① ７月　✧各プログラムの内容確認。ガイドブックへの掲載① ８月　✧各プログラム現場最終確認周り（～9月11日）① 9-11月　✧各プログラム実施、反省会での検討② １２月　✧各エリア会議で、モニターツアーコース検討② １月　✧コースのモニターツアーＰＲパンフレット作成② ２，３月　✧モニターツアー実施②
事業実施による成果	**１．地域資源としての食（農林漁）を活かす為の課題が見えてきた。** ①②の取り組みにおいて地域資源を活かした６７プログラムと６コースを以下の通りに分類し、今後の掘起しやプログラムのブラッシュアップの為の基礎データが得られた。 【ア：農林水産業体験型】 ・農家漁家民泊（０件）　・農林水産業体験のみ（２１件） 【イ：日帰り観光型】 ・観光農園（１件）・農産物の加工体験（８件） ・農産物直売所（６件）　・農家レストラン等地産地消店（14件） ・各種体験ツアー（２２件） 【ウ：イベント交流型（毎年恒常的に実施）】（１件） ・今後、毎年恒常的に実施できるものとして検討しＰＲしていく。 **２．地域資源としての食（農林漁）を活かす為の連携が広がった。** ①②の取り組みにおいて地域資源を活かしたプログラムやツアーコースを企画実施する中で、連携し共に受入れ体制を作っていく人材が５２人になった。今後、各エリアのリーダーが中心となり、さらに活発な連携につながる可能性を含む人脈が形成された。

事業の 内容 （２）	**(2)農山漁村ツーリズム実践者等を対象に、受入体制の整備に向けた各種研修会等の開催** 実施期間：平成２１年６月～平成２２年３月２５日 対象地域：大隅半島全域 実施内容： ①「 山漁村ツーリズム実践者対象研修会開催　　8月7日 ・「ツーリズムとはなんぞや？」というテーマで研修会を開催し、地域づくりに活かすという視点で考える機会とした。 ※添付資料（３）企画書、案内、アンケート結果 ②農山漁村ツーリズム実践者対象先進地研修開催　　10月30,31日 ・８月７日の研修で先進事例を発表した地域に出向き、そこの取組みを実際に体験し、大隅地域で活かすヒントを得る機会とした。 ※添付資料（４）企画書、案内、アンケート結果、参加者リスト ③農山漁村ツーリズム交流研修会（ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ）開催　平成21年12月9日 ・グリーンツーリズムを地域で実践する際の問題点についてワークショップを行い今後の展開に向けて課題を整理する機会とした。 ※添付資料（５）企画書、案内、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟまとめ、参加者リスト ④農山漁村ツーリズム実践ﾘｰﾀﾞｰ対象先進地研修開催 H22年2月16,17日 ・ツーリズムビジネスを実際している地域の実態とビジネスのしくみを学び、大隅におけるツーリズムビジネスの為の情報収集、ノウハウ、及び課題についてレポートし、今後の取組向けたリーダー育成に活かす。 ※添付資料（６）企画書、報告書まとめ、参加者リスト、写真
事業の 経過	７月　　✧農山漁村ツーリズム実践者対象とした研修会企画、募集 ８月７日　✧農山漁村ツーリズム実践者対象研修会開催 10月30,31 ✧農山漁村ツーリズム実践者対象先進地研修実施(1泊2日) 12月9日　　✧農山漁村ツーリズム実践者対象ワークショップ開催 ２月16,17 ✧農山漁村ツーリズムﾘｰﾀﾞｰ対象先進地研修実施(1泊2日)
事業 実施 による 成果	**１．研修会、及び先進地研修を通じて、参加者同士、また研修先と大隅地域とのつながりができた。** ①参加者同士で相互体験。②研修先から参加者の地域で講師する。 **２．地域づくりに活かす視点でのツーリズムに対する課題を共通認識することができた。** ・マスコミで取り上げられる情報は、実際体験したり、現場の人と語り合う中で見えてくる実態と併せて初めて参考になる。 ・民泊を中心としたツーリズムでは、ビジネスとしてはあまり期待できない。 ・地域の人々が、外部の人々との交流を通して元気になる為の運動として位置づけ、取り組んでいくことには意義がある。

事業の内容（３）	**（３）大隅農山漁村ツーリズムのＰＲ** 実施期間：平成２１年６月～平成２２年３月２５日 対象地域：大隅半島全域 実施内容： ①大隅の食や農林水産業体験など地域資源を活かした多様な観光メニューを紹介する事業「大隅わっぜよかど博覧会」及び「大隅ここがよかどモニターツアー」実施について、ガイドブック、パンフレット、マスコミ各社を媒体として、広く外部に紹介した。 ②大隅の農山漁村の伝統祭りの紹介という視点で「祭りマップ」作製 ※添付資料（７）大隅祭りマップ ③大隅の食を紹介する「食マップ」作製 ※添付資料（８）大隅食マップ収集データ一覧（平成２２年３月現在）
事業の経過	７月　✧　観光メニューのデータのとりまとめ ８月　✧「大隅わっぜよかど博覧会」広報活動 10月　✧　大隅各地の「祭り」情報収集 11月　✧「大隅の祭りマップ」完成　カレンダーに掲載し、全国に配布。 １～２月　✧「大隅ここがよかどモニターツアー」広報活動 ２～３月　✧「大隅の食マップ」情報収集
事業実施による成果	**１．大隅の魅力を県内外に広くＰＲできた。** ①「大隅わっぜよかど博覧会」「大隅ここがよかどモニターツアー」のガイドブック２万部やパンフレット５千部を県内外に配布した。 ②「大隅の祭りマップ」は、大海酒造協業組合の協力により毎年作成される「ばらを活かしたまちづくり」カレンダーの見開きﾍﾟｰｼﾞに掲載され、２０００部発行し、全国に配布した。 ③大隅の豊かな食を紹介し、また味わうことのできる場所を紹介するための「食マップ」作製作業を、各地域の方々に協力をいただきたなら進めることで、地域の食をまとめてＰＲしようとする共通意識を持つきっかけとなった。

別紙資料④

団体名　特定非営利活動法人ローズリングかのや

事　業　実　績　書

事業名	大隅わっぜよかど博覧会
事業の内容	実施期間：平成２１年４月～平成２２年３月１０日 実施地域：大隅半島全域 実施項目及び内容： ①地域資源を生かした着地型観光イベントの実施企画 ・大隅半島各地に点在する資源を活かした体験プログラムをメニューとし、その経済効果や今後の可能性をさぐる為、大隅全体で取り組む事業「大隅わっぜよかど博覧会（以下『よかど博』と称する）」を企画した。 ②体験プログラムの企画、集約、整理、情報の発信 ・着地型観光メニューとして、６７の体験プログラムを企画し、集約・整理して公式ガイドブックにまとめ、東京、大阪をはじめ県内外に配布した。 ・のぼりを１５０本作製し、各プログラム開催地に設置した。 ・ポスター、ちらしを作成したり、マスコミ各社の出演依頼を受けるなど、地域内外に情報発信した。 ・インターネット等により、情報を発信した。 ③体験プログラムの予約・手配システムづくり ・事務局として予約センターを設置し、予約や問い合わせに応じた。 ・予約→各プログラム現場への連絡→参加者への予約表送付→体験プログラム実施の手配フローを作った。 ④「よかど博」の実施・運営、評価 ・大隅全域において、ガイドブックに提示した計画に基づき２週間の博覧会を実施した。 ・参加者やプログラム提供者に対してアンケートを行い感想や意見などを集計した。 ・博覧会終了後、エリア毎に反省会を開催し、各プログラム実施者及び案内人の感想や意見をまとめた。 ・全体の反省会を開催し、実施内容、運営などについて検証し、次回への課題を協議した。 ・全体会での話し合いを基に、今後の提言文書を作成し各エリアで、新規メンバーを含めて「今後に向けた」会議を開いた。

事業の経過	４月　✧「よかど博」の概要や時期、実施方法の検討 ５月　✧体験プログラム発掘についての打合せ会議 ６月　✧６７体験プログラムの決定、ガイドブック作成開始。予約・手配のシステムの検討会議。 ７月　✧ガイドブック配布の手配。ポスター・のぼり等の広報手配 ８月　✧ガイドブック完成・配布開始 記者発表などのＰＲ活動 予約センター開設（１５日～） ✧各プログラム現場最終確認周り（～9月11日） ９月　✧予約センターでの申込及び問合せ対応。 ✧「よかど博」開催と現地取材。（12～27日） １０月　✧アンケート・のぼりの回収集計作業。 ✧各エリア毎の反省会（各地域で） １１月　✧全体反省会（鹿屋市リナシティ会議室） ✧各エリア毎会議 （反省会で明らかになった課題を踏まえた上で、次の取り組みについて） ✧各プログラム収支報告書回収 １２月　✧各エリア会議 （今回の「よかど博」には参加しなかったが、新たに加わる方を含めての会議） ✧事業実績報告書作成 ✧各プログラム収支精算書回収 １，２月　✧各エリア会議 （次の活動展開を各エリア内における連携を活かして、大隅全体の動きにするために） ✧事業実績報告書作成 ３月　✧全体収支精算書完成 ✧事業実績報告書完成

事業実施による効果 事業を実施した結果，得られた効果・成果	**１．これまで大隅半島の各地域で、点として存在した地域資源（素材）や人材を線で結んでPRしていくための、足掛かりとすることができた。** ①大隅半島の自然や歴史・文化・農林水産業体験など地域資源を活かした着地型観光メニューとして、６７の体験プログラムを発掘することができた。 ②各体験プログラムの主催者として地域の枠を超えて参加した各施設や団体間で、新しいネットワーク作りの一歩を踏み出すことができた。 ③大隅半島をまとめてPRする形の予約センターを設置したことで、大隅半島ワンストップサービスの仕組み作りの一歩を踏み出すことができた。 **２．今後、大隅半島全体を面として魅力発信していく為の具体的な課題が見えてきた。** ①各エリアメンバーが自主的な発信力を発揮したり、相互に紹介できる情報共有や人的交流を進める必要がある。（現在この課題の解決に向けて、エリア毎のモニターツアー企画を実施中である。） ②大隅ワンストップサービスとしての予約センターの仕組みが、非効率的（電話のみでの対応、紙媒体での受付システム）及び必要な情報（参加条件の詳細内容、各エリアの食事処など）が不十分だった。その為、今後Webサイト等の活用や、各プログラム提供者との連携充実により、大隅に関心を持つ方々のニーズによりよく応え得る情報収集と、それを活用できる仕組み作りを進める必要がある。 ③今回発掘された各プログラム及び新たに加わるプログラムを継続して実施できる為の検証と見直しを図り、それらを組み合わせた旅行商品としてのコースと併せて商品化に向けた取り組み必要である。 ④各プログラムやコースの商品化の為には、以下のような取組みにより全体の均質化を図る必要がある。 ■受入れ者選定基準作り ■受入れマニュアル作成 ■受入れ者研修によるレベルアップ

平成21年度活動経過報告書（平成21年4月～平成22年3月）

参考資料

No.	月　　日	内　　容	場　　所
1	4月3日	ワクワクすんくじら役員会議	かのやばら園
2	4月4日	三役会議	王子町
3	4月7日	大隅観光会議	市役所
4	4月8日	売店意見交換会	かのやばら園
5	4月11日	花・薔薇会	かのやばら園
6	4月17日	ワクワクすんくじら定例会議	かのやばら園
7	4月18日 ～4月19日	宮崎山形屋キャンペーン	宮崎山形屋
8	4月19日	ボランティアスタッフ研修会	かのやばら園
9	4月21日	三役会議　スタッフミーティング	かのやばら園
10	4月22日	第46回理事会	かのやばら園
11	4月23日	開花宣言	かのやばら園
12	4月24日	かのやばら祭り2009開始	かのやばら園
13	4月27日	三役会議	かのやばら園
14	5月10日	二者会議	
15	5月15日	ワクワクすんくじら定例会議	かのやばら園
16	5月17日	ばらいっぱいコンクール表彰式	かのやばら園
17	5月19日 ～ 5月21日	鹿児島山形屋キャンペーン	鹿児島山形屋
18	5月20日	第47回理事会	かのやばら園
19	5月21日	着地型観光推進事業（よかど博）会議	県庁
20	5月25日	大隅観光開発会議	地域振興局
21	5月27日	南大隅地区よかど博プログラム開発会議	道の駅根占
22	5月29日	H21事業打合せ会議	市役所
23	5月30日	歩こう会　第48回理事会　ローズリングかのや総会	かのやばら園
24	6月11日	三役会議	かのやばら園
25	6月18日	三者会議　第49回理事会	かのやばら園
26	6月19日	ワクワクすんくじら定例会議	かのやばら園
27	6月24日	スタッフミーティング	かのやばら園
28	7月1日	三役会	かのやばら園
29	7月11日	三役会	市役所
30	7月16日	三役会　第50回理事会	かのやばら園
31	7月17日	ワクワクすんくじら定例会議	かのやばら園
32	7月25日	栽培教室	かのやばら園
33	7月30日	ワクワクすんくじらモニターツアー	鹿屋市、錦江町
34	8月7日	グリーンツーリズム研修会	市役所
35	8月8日・9日 8月15日・16日	夏休み体験工房	かのやばら園
36	8月11日	よかど博記者会見	
37	8月13日	かのやばら祭り2009秋打合せ	
38	8月18日	第51回理事会	かのやばら園
39	8月19日	よかど博県広報取材	
40	8月20日	二者会議	
41	8月21日	ワクワクすんくじら定例会議	ローズリング事務所2階
42	8月26日	スタッフミーティング	ローズリング事務所2階

No.	月　　日	内　　容	場　　所
43	9月5日	オーナー選定会　栽培教室	かのやばら園
44	9月12日	よかど博スタート　花＊薔薇＊会	かのやばら園
45	9月17日	二者会議　第53回理事会	ローズリング事務所2階
46	9月18日	ワクワクすんくじら会議	ローズリング事務所2階
47	9月23日	スタッフミーティング	ローズリング事務所2階
48	9月27日	よかど博最終日	
49	10月8日	第53回臨時理事会	
50	10月10日 ～10月12日	宮崎山形屋キャンペーン	宮崎山形屋
51	10月14日	スタッフミーティング	ローズリング事務所2階
52	10月15日	ばら祭り2009秋開花宣言	かのやばら園
53	10月17日	栽培教室	かのやばら園
54	10月22日	二者会議	市役所
55	10月27日 ～10月29日	鹿児島山形屋キャンペーン	鹿児島山形屋
56	10月30日 ～10月31日	グリーンツーリズム民泊体験研修	宮崎県北きりしま地区（小林市）
57	11月7日 ～11月8	体験工房	かのやばら園
58	11月7日 ～11月9日	小国ツーリズム大学受講	小国町
59	11月17日	企画会議	ローズリング事務所
60	11月18日	二者会議	かのやばら園
61	11月19日	第54回理事会	ローズリング事務所2階
62	11月20日	よかど博全体反省会	リナシティ
63	11月21日 ～11月22日	オーナー切花会	かのやばら園
64	11月25日 ～11月26日	かごしま人材育成塾　発表	鹿児島サンロイヤルホテル
65	12月1日 ～　12月2日	鹿児島中央駅一鹿屋直行バス開通モニターツアー	リナシティ他大隅名所
66	12月2日	スタッフミーティング	ローズリング事務所2階
67	12月5日 ～12月7日	小国ツーリズム大学受講	小国町
68	12月5日	経済同友会よかど博報告	さつき苑
69	12月6日	親子クリスマスコンサート	かのやばら園ローズダイナー
70	12月9日	グリーンツーリズム研修交流会	市役所
71	12月11日 12月12日	九州グリーンツーリズムシンポジウム　発表	人吉
72	12月13日	クリスマス体験講座	かのやばら園多目的
73	12月13日 ～12月20日	クリスマス作品展示会	かのやばら園多目的
74	12月13日	クリスマスコンサート	かのやばら園ローズダイナー
75	12月18日	ワクワクすんくじら定例会議	かのやばら園
76	12月19日	栽培教室　花＊薔薇＊会	かのやばら園
77	12月21日 ～12月23日	恋人の聖地視察	下関～門司～福岡～唐津
78	12月28日	大掃除　御用納め	かのやばら園
79	1月2日	正月開園	かのやばら園
80	1月3日	新春餅つき大会	かのやばら園
81	1月5日	企画会議	ローズリング事務所
82	1月9日 ～1月11日	小国ツーリズム大学受講	小国町
83	1月13日	売店商品会議　スタッフミーティング	ローズリング事務所2階
84	1月16日	花＊薔薇＊会	ローズリング事務所3階
85	1月19日	第55回理事会	ローズリング事務所4階
86	1月20日	二者会議	市役所
87	1月23日	栽培教室	ローズリング事務所2階

No.	月　　日	内　　容	場　　所
88	1月26日	モニターツアー記者発表＆ワクワクすんくじら会議	市役所
89	1月27日	スタッフミーティング	ローズリング事務所2階
90	1月30日	鹿児島空港キャンペーン	鹿児島空港
91	1月31日	野ばらのコンサート	かのやばら園ローズダイナー
92	2月2日	鹿児島空港キャンペーン	鹿児島空港
93	2月5日	かごしまツーリズムフォーラム	垂水公民館
94	2月6日 ～2月8日	小国ツーリズム大学受講	小国町
95	2月6日	栽培教室	ローズリング２階
96	2月6日 ～2月7日	ひなまつり講座	かのやばら園多目的
97	2月11日	RRK会員旅行	曽於市
98	2月13日	花＊薔薇＊会	ローズリング事務所2階
99	2月13日 ～２月１４日	南エリアモニターツアー	錦江町ー南大隅町
100	2月15日	スタッフ研修旅行	指宿方面
101	2月16日 ～2月17日	ツーリズム先進地視察研修	長崎県　小値賀町
102	2月20日 ～3月31日	らぶらぶおさんぽdeプレゼントゲット	かのやばら園
103	2月20日 ～２月２１日	北エリアモニターツアー	曽於市
104		東エリアモニターツアー	志布志市、大崎町、東串良町
105		まん中エリアモニターツアー	鹿屋市
106	2月23日	第５６回理事会	ローズリング事務所2階
107	2月26日	垂水モニターツアー	桜島ー垂水
108	3月6日 ～3月7日	小国ツーリズム大学受講	小国町
109	3月11日 ～3月13日	まちづくり先進地視察研修	長野県小布施町
110	3月14日	ばらづくしピアノコンサート	かのやばら園ローズダイナー
111	3月19日	わくわくすんくじら設立会議	ローズリング事務所2階
112	3月20日	霧島ヶ丘公園・かのやばら園ウォーキング風景散歩	霧島ヶ丘公園・ばら園
113	3月25日	二者会議	市役所
114	3月25日	第５７回理事会	ローズリング事務所2階

貸　借　対　照　表

平成22年 3月31日現在

特定非営利活動法人　ローズリングかのや
一般会計　　（単位：円）

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	4,914,592		
レジ現金	367,908		
小口現金	31,310		
普通預金	4,515,374		
売掛金	14,100		
棚卸資産	1,454,812		
立替金	720		
未収入金	817,652		
流動資産合計		7,201,876	
固定資産			
その他の固定資産			
建物附属設備	64,835		
車両運搬具	17,440		
什器備品	1,109,545		
ローズリング債返済引当特定預金	11,270,000		
その他の固定資産合計	12,461,820		
固定資産合計		12,461,820	
資産合計			19,663,696
【負債の部】			
流動負債			
買掛金	845,706		
未払金	2,344,708		
未払費用	1,823,058		
前受金	142,800		
流動負債合計		5,156,272	
固定負債			
長期借入金	14,650,000		
固定負債合計		14,650,000	
負債合計			19,806,272
【正味財産の部】			
正味財産			△ 142,576
（うち当期正味財産増加額）			(727,099)
負債及び正味財産合計			19,663,696

収　支　計　算　書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

科目	予算額	決算額	差異	予算執行率	前年比率
【経常収入の部】					
会費収入	560,000	481,800	△ 78,200	86.0%	64.4%
事業収入	83,669,377	87,262,814	3,593,437	104.3%	112.3%
地域産業振興等収入	1,677,000	1,482,230	△ 194,770	88.4%	97.2%
売店運営事業収入	70,356,000	66,333,557	△ 4,022,443	94.3%	103.4%
カフェ食堂運営事業収入	2,006,000	2,006,000	0	100.0%	100.0%
広告・宣伝企画収入	160,000	153,000	△ 7,000	95.6%	118.6%
交流・文化活動収入	390,000	230,000	△ 160,000	59.0%	18.4%
酒類販売事業収入	2,001,000	2,360,150	359,150	117.9%	884.3%
その他事業	7,079,377	14,697,877	7,618,500	207.6%	175.6%
補助金等収入	4,000,000	2,000,000	△ 2,000,000	50.0%	129.9%
寄付金収入	15,000	13,100	△ 1,900	87.3%	89.5%
雑収入	871,000	902,369	31,369	103.6%	98.2%
経常収入合計	89,115,377	90,660,083	1,544,706	101.7%	112.0%
【経常支出の部】					
事業費	78,144,080	78,600,971	△ 456,891	100.6%	114.6%
地域振興研修会議等事業費	469,000	3,343,498	△ 2,874,498	712.9%	246.5%
栽培教室支出	70,000	72,524	△ 2,524	103.6%	122.2%
アカデミー支出	31,000	500	30,500	1.6%	1.6%
ばらのまちサポーター支援支出	68,000	19,210	48,790	28.3%	31.5%
研修会支出	200,000	117,530	82,470	58.8%	10.4%
その他支出	100,000	13,412	86,588	13.4%	18.8%
ばらを活かした誘客促進コーディネート事業	0	3,120,322	△ 3,120,322	-	-
地域産業振興等事業費	9,330,450	11,695,905	△ 2,365,455	125.4%	637.4%
新商品開発支出	300,000	145,020	154,980	48.3%	26.7%
地元農林水産物加工品支出	1,425,450	1,259,784	165,666	88.4%	97.8%
地域産業振興コーディネート支出	3,600,000	3,600,000	0	100.0%	100.0%
その他支出	5,000	78,720	△ 73,720	1574.4%	1920.0%
大隅観光PR事業支出	4,000,000	3,420,442	579,558	85.5%	470.7%
大隅広域体験型観光推進事業	0	3,191,939	△ 3,191,939	-	-
売店運営事業費	64,355,660	58,718,747	5,636,913	91.2%	95.9%
物品仕入費	39,000,000	35,557,166	3,442,834	91.2%	105.6%
ばら苗仕入費	10,430,000	9,048,205	1,381,795	86.8%	93.2%
材料仕入費	0	169,640	△ 169,640	-	8.9%
給料手当	13,390,000	12,138,424	1,251,576	90.7%	91.7%
福利厚生費	350,000	56,029	293,971	16.0%	168.3%
法定福利費	33,000	114,310	△ 81,310	346.4%	32.7%
賃借料	447,660	446,732	928	99.8%	99.8%
消耗品費	260,000	844,786	△ 584,786	324.9%	60.3%
水道光熱費	60,000	46,643	13,357	77.7%	74.2%
通信運搬費	65,000	54,590	10,410	84.0%	67.3%
雑費	320,000	242,222	77,778	75.7%	81.2%
カフェ食堂運営事業費	1,760,420	1,750,748	9,672	99.5%	99.5%
広告宣伝企画等事業費	440,000	324,608	115,392	73.8%	80.9%
交流・文化活動等事業費	220,000	722,483	△ 502,483	328.4%	97.7%
酒類販売事業費	1,468,550	1,961,415	△ 492,865	133.6%	662.4%
その他事業費	100,000	83,567	16,433	83.6%	34.2%
管理費	9,529,560	9,447,622	81,938	99.1%	102.0%
経常支出合計	87,673,640	88,048,593	△ 374,953	100.4%	108.1%
経常収支差額	1,441,737	2,611,490	△ 1,169,753	181.1%	-537.5%
【その他資金収入の部】					
その他資金収入合計	0	0	0	0.0%	0.0%
【その他資金支出の部】					
固定資産取得支出	0	435,920	△ 435,920	-	404.5%
什器備品購入支出	0	435,920	△ 435,920	-	404.5%
借入金返済支出	600,000	600,000	0	100.0%	1200.0%
長期借入金返済支出	600,000	600,000	0	100.0%	1200.0%
特定預金支出	380,000	3,900,000	△ 3,520,000	1026.3%	100.0%
ローズリング債償還引当預金支出	380,000	3,900,000	△ 3,520,000	1026.3%	100.0%
その他資金支出合計	980,000	4,935,920	△ 3,955,920	503.7%	121.6%
当期収支差額	461,737	△ 2,324,430	2,786,167	16.6%	51.2%
前期繰越収支差額	2,915,222	2,915,222	0	100.0%	39.1%
次期繰越収支差額	3,376,959	590,792	2,786,167	17.5%	20.3%

正味財産増減計算書
平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

特定非営利活動法人　ローズリングかのや
一般会計　（単位：円）

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
什器備品購入額	435,920		
棚卸資産増加額	1,454,812		
ローズリング債特定預金増加額	3,900,000	5,790,732	
負債減少額			
長期借入金返済額	600,000	600,000	
増加額合計			6,390,732
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	2,324,430		
固定資産除却額	405,057		
建物減価償却額	47,137		
車両運搬具減価償却額	20,146		
什器備品減価償却額	811,416		
棚卸資産減少額	2,055,447	5,663,633	
負債増加額			
減少額合計			5,663,633
当期正味財産増加額			727,099
前期繰越正味財産額			△ 869,675
期末正味財産合計額			△ 142,576

財　産　目　録
平成22年 3月31日現在

特定非営利活動法人　ローズリングかのや
一般会計　（単位：円）

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	4,914,592		
現金　現金手許有高	399,218		
普通預金	4,515,374		
鹿児島興業信用組合鹿屋支店	318,108		
鹿児島きもつき農業協同組合	922,952		
鹿児島きもつき農協(ばら誘客)	917,313		
鹿児島きもつき農協(大隅広域)	855,591		
ゆうちょ銀行振替口座	136,200		
ゆうちょ銀行総合口座	297,925		
九州労働金庫	50,958		
鹿児島銀行	516,327		
鹿児島興業信用組合西原支店	500,000		
売掛金	14,100		
棚卸資産	1,454,812		
立替金	720		
未収入金	817,652		
流動資産合計		7,201,876	
固定資産			
その他の固定資産			
建物附属設備	64,835		
車両運搬具	17,440		
什器備品	1,109,545		
ローズリング債返済引当特定預金	11,270,000		
その他の固定資産合計	12,461,820		
固定資産合計		12,461,820	
資産合計			19,663,696
【負債の部】			
流動負債			
買掛金	845,706		
未払金	2,344,708		
未払費用	1,823,058		
前受金	142,800		
流動負債合計		5,156,272	
固定負債			
長期借入金	14,650,000		
固定負債合計		14,650,000	
負債合計			19,806,272
正味財産			△ 142,576

平成２１年度　監査報告書

平成２２年５月１１日

特定非営利活動法人　ローズリングかのや
理事長　尾曲　伸一　様

特定非営利活動法人　ローズリングかのや

監　事　野田敬一

監　事　遠田伸一

当監事は、特定非営利活動法人ローズリングかのやの平成２１年４月１日から平成２２年３月３１日までの平成２１年度事業年度における業務及び会計、財産の状況について監査を実施したので、以下の通り報告します。

記

１．監査期日　　平成２２年５月１１日（火）

２．監査場所　　特定非営利活動法人ローズリングかのや事務所

３．立会人　　特定非営利活動法人ローズリングかのや理事長　尾曲伸一
特定非営利活動法人ローズリングかのや専務理事　丸野里美
特定非営利活動法人ローズリングかのや職員　葛迫利絵

４．監査報告

平成２１年度事業及び会計、財産の状況について、諸帳簿並びに関係書類等を監査した結果、違算がなく正当に執行されていたことを認める。また、業務の執行についても適正に行われていたことを認める。

議案第３号　平成２２年度事業計画

平成２２年度事業計画

特定非営利活動法人ローズリングかのや

１　事業実施の方針

昨年度は、創設以来取り組んでまいりました「ばらを活かしたまちづくり」を推進するにあたり、「日本一を誇れるばら園」の協働運営に加え、「ばらを活かした誘客促進」及び「大隅広域体験型観光推進」等の受託事業を進めてまいりました。その一環として大隅半島各地の有志による自主的活動グループ「ワクワクすんくじら」と共に開催した「大隅わっぜよかど博覧会」は、それまで点として存在した大隅の資源を、線でつなぎ、「大隅の元気」を創造していく為の大きな一歩となり、これから大隅全体を面として発信できる体制が整いつつあります

本年度は、昨年度までの取り組みを活かし、以下の事業を中心に展開してまいります。

（１）　年間を通じた「かのやばら園」誘客促進につながる市民参加活動の充実支援，及び産業支援につながる収益事業の充実

（２）　持続可能な「大隅の元気」をめざし、市民・行政が一体となった広域観光PR事業の展開

（３）　３ヵ年ビジョンに沿った事業及び目標達成に伴なう取組み

２　事業の実施に関する事項（平成22年4月1日 ～ 平成23年3月31日）

⑴ 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数		支出見込み額（千円）
地域振興のための各種催事・研修・会議の企画演出事業 4,399千円	1）ばらの栽培教室	５～翌１月 月１回土曜日	かのやばら園	理事３名委員 １０名（修了生）	一般市民	３５	７０
	2）かのやばら園アカデミー	６～翌５月	かのやばら園他	理事２名委員 ６名（講師）	一般市民	３５０	１０
	3）ばらいっぱいコンクールの実施及びフォローアップ	５，１１月	かのやばら園及び鹿屋市内外地域	理事３名委員 ６名（協力団体）	一般市民	６０	０
	4）ばらのまちｻﾎﾟｰﾀｰﾚﾍﾞﾙｱｯﾌﾟ支援 ・ローズガーデン講座	９～翌２月	かのやばら園	理事３名	ばらまちサポーター	３０	１０
	5）研修会・視察等 ・スタッフ研修他 ・会員研修他 ・一般向け研修会他	５～翌３月	かのやばら園及び県内外	理事１０名	会員及び一般市民	２００	９０
	6）歳時ごと企画事業の実施	４～翌３月	かのやばら園・県内外	理事１０名	一般市民	３００	０
	7）ばらを活かした誘客促進コーディネート事業（別紙⑤） ①恋人の聖地活用 ②オフシーズン事業 ③ボランティア登録 ④ばら園データベース	４～翌３月	鹿屋・大隅	理事９名	一般市民	２０万	４２１９

地域産業振興のための商品の企画立案・販売事業 7,266千円	1）新商品開発事業 ばらの商品の開発支援	４～翌３月	売店及びカフェ食堂	理事１０名	一般市民及び県内外観光客	３千	５０
	2）地元農林水産物を使用した加工製品の推奨	４～翌３月	売店	理事１０名	一般市民及び県内外観光客	１０万	８５０
	3） 大隅広域観光PR事業 ・ 大隅わっぜよかど博覧会　(別紙⑥)	６～１２月	鹿屋・大隅地域	理事９名	一般市民及び県内外観光客	５千	２０００
	・大隅広域体験型観光事業　(別紙⑤)	４～翌３月	鹿屋・大隅地域	理事９名	一般市民及び県内外観光客	５千	４３６６
観光施設･スポーツ施設等の管理受託事業 51,065 千円	1）売店運営事業 2）カフェ食堂運営事業	４～翌３月	売店及びカフェ食堂	理事１０名	一般市民及び県内外観光客	１０万	４９２３６ １８２９
広告･宣伝に関する企画・立案制作事業 235 千円	1） 会報の発行	７～１２月	かのやばら園及び鹿屋市内	理事１２名	会員及び一般市民	５００	０
	2） ばらを活かしたまちづくり計画推進委員会・かのやばら祭りへの参画	４～翌３月	かのやばら園及びかのや市街地	理事６名	一般市民及び県内外観光客	１０万	２００
	3）誘客・販促事業	４～翌３月	かのやばら園及び売店･カフェ食堂	理事６名	一般市民及び県内外観光客	５万	３５
	4）広報・宣伝	４～翌３月	鹿屋市内外	理事５名	県内外の一般市民	１０万	０
交流・文化活動の企画・演出事業 200 千円	1）ばらのオーナー	９～翌２月	かのやばら園	理事３名	一般市民	１５０	２００
酒類販売事業 1,662 千円	1）酒類の販売に係る事業	４～翌３月	売店	理事６名	鹿屋市民及び県内外観光客	１０万	１６６２
その他目的を達成するために必要な事業 165 千円	1）会員増強 ・関東訪問等 ・会員サービス 2）産業活性の研修等	４～翌３月	かのやばら園及び売店・カフェ食堂 事務局	理事２３名	鹿屋市民及び県内外観光客	３００	１６５

事業費　　支出合計額　６４，９９２千円

３　その他事項

昨年度に引き続き、鹿児島県「かごしま着地型観光メニューモデル開発事業」としての助成金を活用して、前述の「大隅わっぜよかど博覧会」を開催、また「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用し、「大隅広域体験型観光推進事業」及び「ばらを活かした誘客促進コーディネート事業」を鹿屋市より委託を受けるなど行政とも連携しながら事業を展開してまいります。

各事業につきましては、別紙資料 ⑤ ⑥の計画書をご参照ください。

平成22年度事業計画詳細内容

（１）特定非営利活動に係る事業

■　地域振興のための各種催事・研修・会議の企画・演出事業

１）ばらの栽培教室の継続実施

ばらのまちづくりを担う人材育成を目指してスタートし、今年で第７回目を迎えた「ばらの栽培教室」は、宮崎市や薩摩川内市など鹿屋市外からの受講生２４人を含む３５名からのスタートとなりました。本講座は例年通り、かのやばら園の専門技術者を講師とし、栽培教室修了した「ばらのまちサポーター」スタッフによる充実したサポート体制で実施してまいります。

２）かのやばら園アカデミーの継続実施

かのやばら園の誘客をテーマに「ばらの花以外のばら園の魅力」を作り出すためにスタートした各種手工芸講座「かのやばら園アカデミー」も今年で５期目を迎えました。

今年度は、分野や範囲を広げて講師募集し、より幅広い層の方々に向けたアプローチをすることで、ばら園の PR 及び誘客に努めます。

３）ばらいっぱいコンクールの実施

ばらづくりの素晴らしさを多くの方に知っていただき、ばらいっぱいで元気な「ばらのまち」づくりを目的に、平成２２年５月に第３回「ばらいっぱいコンクール」を開催しました。今年は、これまで連続最優秀賞を受賞している方については「殿堂入り」と位置づけ、参加希望者へのアドバイザーとして関わっていただくなど、より幅広い層の団体や個人の参加を促し、「ばらいっぱい運動」を推進します。

４）ばらのまちサポーターレベルアップ事業

ばらの栽培教室を修了生した「ばらのまちサポーター」を中心に立ち上がった「花（はな）＊薔薇（ばら）＊会（かい）」も新メンバーも加わり４年目を迎え、ばらの栽培に加えガーデニングを含む定例勉強会を継続実施していきます。また今年も引き続き日本園芸協会主催の「ローズガーデン講座」※1 受講による「ローズコンシェルジュ」資格取得希望者を支援します。

５）研修会・視察等の実施

会員研修視察は、昨年度に引き続き「大隅半島の魅力再発見」をテーマに、自分たちの住む大隅半島をめぐり、「かのやばら園」から広がる広域での誘客拡大を図ります。

また今年度は、設立５年目に当たり、あらためて「ばらを活かしたまちづくり」「大隅の元気の創造」などについて、市民・行政が一緒に考え、推進していく意義を共通理解する為のフォーラムを開催します。

６）歳時ごとの企画事業の実施

「ばらを活かした誘客促進コーディネート」事業と併せて取り組み、特に閑散期におけるかのやばら園への誘客と売店・カフェ食堂の販売促進に努めます。

夏：夏休みイベント（ばら園クイズ、体験工房など），キャンドルナイトコンサート

冬：クリスマスイベント（リース作り体験、展、交流パーティ），ミニコンサート

　　新年もちつき大会、ひな祭り体験イベント、バレンタインデー等イベント

7）ばらを活かしたコーディネート事業（別紙資料⑤参照）

ばら園に関わる人材の育成、ばら園の魅力を活かした以下の事業に取組み、誘客促進を図ります。

① ボランティア登録制度の構築

② シーズンオフ時のイベント開催による誘客促進

③ 恋人の聖地ネームバリューアップによる若年層の誘客促進

④ 「かのやばら園」データベースの作成

■ 地域産業振興のための商品の企画・立案・販売事業

1）新商品開発事業

① 「ばらのまちかのや」「かのやばら園」「元気な大隅」の魅力あるオリジナル商品の開発に取り組む地元企業等をサポートする為に、研修会の開催、PR のサポートなど行います。

② 鹿屋産ばら苗及び商品の原料としてのばらの花弁等の安定供給のための取り組みを支援します。

2）地元農林水産物を使用した加工製品の推奨

地場の農林水産加工グループや食品製造業等と連携し、「かのや」市の恵まれた地域資源である農林水産物や地域内外に積極的に情報発信し、地域ブランドの確立を図ります。

3）大隅観光 PR 事業の推進

昨年度は、自主的活動グループ「ワクワクすんくじら」と共に「大隅わっぜよかど博覧会」を開催しました。今年度はその反省事項を基に各地域の取り組みを強化するために生まれた新生「わくわくすんくじら」と共に、昨年度の体験プログラムが、より地域の活性化に結びつき各地域の有志と行政との連携も強化する体制で「大隅わっぜよかど博覧会Ⅱ」を開催します。（別紙資料⑥参照）

また、今年４月に発足した「かのやツーリズム推進協議会」のメンバーとして、農林水産省及び文部科学省が推進する「子ども農山漁村交流プロジェクト」等の受け入れ体制を整えるなど大隅の魅力を活かすツーリズム促進をめざします。その為に、鹿屋市、大隅地域振興局を含む行政とも連携しながら、人材育成、研修事業などにも、取り組んでいきます。（別紙資料⑤参照）

■ 観光施設・スポーツ施設等の管理受託業務

1）売店運営事業

今年４月の口蹄疫問題による春のばら祭り中止における大幅収入減（前年比約５割）を踏まえ、地元商品を含むばら園オリジナル商品のインターネット販売開始などによる売上拡大と PR 強化に取り組み、地域資源の宝庫である大隅地域の活性化に貢献できる売店運営を目指します。そのために、本年度７月より、ローズリングかのやのホームページを立ち上げる予定です。

2）カフェ食堂運営事業

ばら園に相応しいメニューや、各イベントに合わせたメニューの開発など、より「かのやばら園」ご来園のお客様に喜ばれる食とサービスを提供していきます。

■ 広告・宣伝に関する企画・立案・制作事業

1）会報の発行

会報「ローズリングファミリー」を発行し、イベント情報発信や会員サービスの充実を図ります。

2）ばらを活かしたまちづくり計画推進委員会・かのやばら祭り実行委員会への参画

ばらを活かしたまちづくりの実施団体として、また、ばら祭り実行委員会の実行委員として活動を進めて行きます。

３）誘客・販促事業

ばらの花が極端に少ない９月及び２～３月の剪定後の時期に来園されたお客様に、スタッフ作成オリジナルプレゼントサービス等を行い、次回の来園を促します。

ばらを活かしたまちづくり計画推進委員会と協力し、かのやばら園誘客促進の目的で、年に３～４回の出張キャンペーン（ばら祭り in 山形屋など）を実施します。

４）広報・宣伝

閑散期の誘客目的イベントや商品情報などを旅の情報紙や地元メディアを活用して PR することに加え、旅行会社に対して大隅広域における体験プログラムをつなぐツアー案を提案するなど、広報宣伝に努めます。

■ 交流・文化活動の企画・演出事業

１）ばらのオーナー制度

ばらを通じての交流を目的に始まりました「ばらのオーナー制度」も第２期の２年目を迎え、今期から始まった３年間のパスポートサービスにより、オーナーの方がより多くご来園いただいております。また、昨年度実施して好評だった、ばらの花がら摘みなど、オーナーばらの手入れ作業にも参加できるような取り組みも続けていきます。

■ 酒類販売事業

１）酒類の販売に係る事業

地元企業との連携により開発された「ばらを使った酒類」の販売をより促進するために「ばら焼酎販売促進委員会」を発足し、お互いの取り組みについて情報交換や意見交換を行いながら、さらに販路拡大のための企画・広報を行います。

■ その他目的を達成するために必要な事業

１）会員増強

・会員になる意味や特典などについて明確にするツールやサービスを充実させ、故郷を離れて地元を応援する会（関東鹿屋会等）を訪問するなどの取り組みを行い、会員増強をはかることで、より幅広い層の方々に支えられ、またはみんなで創る「ばらを活かしたまちづくり」事業をめざします。

２）大隅地域各地に豊富にある食・自然・文化などの資源を、地元住民は基より外部の方々に魅力的に発信し、地域の産業活性に活かす為の商品化について、各地域の方々を対象とした研修会等を開催します。

（２）その他の事業

■ 地域産業に関する商品の企画・販売・斡旋事業

１）かのやばら園の売店において、地元業者の商品を優先的に販売を行い、業者の方々と定期的な意見交換会を開催するなどのコミュニケーションをとりながら、お客様のニーズに応える商品づくりに取り組み、地元商品の効果的な PR に努めます。

別紙資料⑤

事業名	ばらを活かした誘客促進コーディネート事業
委託期間	平成22年4月1日　～　平成23年3月31日
委託事業目的	ばら園で活動するボランティアの資質向上や参加型イベントの企画・実施に係る機能強化等を図り、ばら園への誘客促進を図る。
委託必須条件	①1名以上の雇用　②委託業務経費の人件費1／2以上　③雇用期間は1年以上更新
委託金額	**4,219,000 円**　【内　人件費　2,424,000円　事業費　1,795,000円 】

(1)ボランティア登録制度の構築	(2)シーズンオフ時のイベント開催による誘客促進	(3)恋人の聖地ネームバリューアップによる若年層の誘客促進	(4)「かのやばら園」データベースの作成
・ボランティアガイド研修会 （年３回） ・ボランティア先進地視察	・イベント年間スケジュール作成 ・ばら園ｱｶﾃﾞﾐｰ体験工房･展示会開催 ・夏休み体験工房 ・お正月イベント ・オフシーズン（7-9月・12-3月）対策	・聖地PR挙式開催(2組×2回) ・Lover's ｷｬﾝﾄﾞﾙｺﾝｻｰﾄ ・ｸﾘｽﾏｽｺﾝｻｰﾄ	・見本による花の照合 ・データベース準備作業

事業名	大隅広域体験型観光推進事業
委託期間	平成22年4月1日　～　平成23年3月31日
委託事業目的	「大隅全体の誘客」を促進するため、その実働部隊として平成20年度に結成された「ワクワクすんくじら」を中心に、鹿屋市を拠点としたグリーンツーリズム等の体験型観光の受入体制を構築する。
委託必須条件	①1名以上の雇用　②委託業務経費の人件費1／2以上　③雇用期間は1年以上更新
委託金額	**4,366,000 円**　【内　人件費　2,424,000円　事業費　1,942,000円 】

(1)受け入れ農家等の発掘と体験指導者の育成	(2)総合案内窓口(参加者問合せ先等)	(3)体験プランの作成、商品化、宣伝、PR
・指導者の育成 ・ツーリズム協議会と連携 （研修会、視察等への補助） ・受入先の開拓とツーリズムマップの作成	・総合案内窓口の設置(ばら祭り会場、その他ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ等での案内) ・受付案内人の育成 ・よかど博開催時の受付業務 ・各地の観光･ｲﾍﾞﾝﾄ･特産品等のﾘｽﾄ作成	・大隅わっぜよかど博覧会の開催 ・着地型観光の企画 ・広報戦略の確立

別紙資料⑥

団体名　特定非営利活動法人ローズリングかのや

事　業　計　画　書

事業名	**大隅わっぜよかど博覧会　Ⅱ**
事業の目的	１．前回（平成21年度かごしま着地型観光メニューモデル事業として開催した「大隅わっぜよかど博覧会」）を踏まえ、さらに広範囲に地域資源の観光商品化を行い、継続的にビジネスとして取り組めるようにする。また関連産業との相乗効果（シナジー）を引き出す。 ２．地域ごとのチームが着地型観光や関連の運営ノウハウを構築すると共に、その地域の行政との連携を図ることで、共生・協働の定着化を図り、地域一体の競争力を高める。 ３．各地域の競争力を高めると同時に、大隅地域が全体として連携し、活動できるしくみを作る。
事業の内容	①　地域資源を生かした着地型観光イベントの実施企画 ・大隅地域を行政区に沿ったいくつかのエリアに分け、各エリアリーダーを中心としたチームで、その地域の資源を活かし今後継続できる着地型観光メニューを開発する。 ・地域特産品をおみやげとしてセットでアピールする。 ・各プログラムを組み合わせたツアー企画にもつなげる。 ②　着地型観光メニューの企画，集約・整理，情報の発信 ・各エリアで企画・集約されたプログラムや地域情報及び広く募った協賛者の情報を標準フォーマットに記入して収集し、大隅全体のガイドブックとして整理・作成し、広く発信する。 ・ガイドブックでは、開催期間だけでなく通年実施可能なプログラムも紹介し、通年を通した利用も想定した編集を行う。 ③　着地型観光メニューの予約・手配システムづくり １）事務局の電話受付で一本化 ２）事務局で必要事項を記入した申込書を作成 ３）申込書をもとに一覧表を作成し、日計表に記入 ４）プログラム実施者に通知 ５）プログラム実施者からの受付確認 ６）申込者に確認通知 以上の手順をベースに、予約・手配の運用を行う。 ④　着地型観光イベントの実施・運営，評価 ・プログラム実施関係者を対象とした研修やシミュレーションを通じて、内容や価格を検討・精査し、継続可能なプログラムとしての定着を図る。 ・各エリアの自主的運営に向けた研修などを開催する。 ・全参加者及び実施者に対してアンケートを実施する。

事業のスケジュール	5月　　全体企画作成 　　各エリアからのプログラムシート収集 5,6月　各プログラム詳細確認（シート記入内容の検証） 　　各プログラムの現地確認 　　広告協賛依頼活動　（各エリアでも活動する） 6,7月　ガイドブック原稿作成～完成 7月　　広報PR・記者発表、 　　ガイドブック配布活動 　　プログラム実施者対象研修会実施 7,8月　プログラム最終確認、のぼり配布 8月中旬～9月末　受付 9月11日～10月3日　大隅わっぜよかど博覧会Ⅱ　開催 　　アンケート実施・回収 10月　各プログラム実施報告書回収、 　　アンケート集計 　　各エリア毎反省会 11,12月　全体反省会 　　各エリア今後の取り組み検討会議 　　全体報告書作成
事業実施により期待できる効果	◎各エリアのメンバーが自ら観光ビジネスを企画立案し、実施できる力を身に付ける。 ◎各エリアのメンバーが行政と一体となって産業推進を図る共生・協働のきっかけとなる。 ◎観光ビジネスを中心として関連産業（交通、農業、漁業、食品加工など）の相乗効果により地域全体の産業発展が期待できる。 ◎行政の枠を超えた大隅地域全体の産業競争力強化につながる。

議案第４号　平成２２年度収支予算

平成22年度　収支予算額
平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

科目	前年度決算額	予算額	前年比
【経常収入の部】			
会費収入	**481,800**	**480,000**	**99.6%**
事業収入	**87,262,814**	**75,598,860**	**86.6%**
地域産業振興等収入	1,482,230	1,000,000	67.5%
売店運営事業収入	66,333,557	54,094,000	81.5%
カフェ食堂運営事業収入	2,006,000	2,006,000	100.0%
広告・宣伝企画収入	153,000	800,000	522.9%
交流・文化活動収入	230,000	20,000	8.7%
酒類販売事業収入	2,360,150	2,000,000	84.7%
その他事業	14,697,877	15,678,860	106.7%
ばら園受付委託金収入	7,079,377	7,093,860	100.2%
ばらを活かした誘客促進事業収入	3,111,000	4,219,000	135.6%
大隅広域体験型観光事業収入	3,174,000	4,366,000	137.6%
大隅PR体験型事業収入	1,333,500		0.0%
補助金等収入	**2,000,000**	**1,200,000**	**60.0%**
寄付金収入	**13,100**	**13,000**	**99.2%**
雑収入	**902,369**	**850,000**	**94.2%**
経常収入合計	90,660,083	78,141,860	86.2%
【経常支出の部】			
事業費	**75,000,971**	**64,992,000**	**86.7%**
地域振興研修会議等事業費	3,343,498	4,399,000	131.6%
地域産業振興等事業費	8,095,905	7,266,000	89.7%
売店運営事業費	58,718,747	49,236,000	83.9%
カフェ食堂運営事業費	1,750,748	1,829,000	104.5%
広告宣伝企画等事業費	324,608	235,000	72.4%
交流・文化活動等事業費	722,483	200,000	27.7%
酒類販売事業費	1,961,415	1,662,000	84.7%
その他事業費	83,567	165,000	197.4%
管理費	**13,047,622**	**12,551,000**	**96.2%**
経常支出合計	88,048,593	77,543,000	88.1%
経常収支差額	2,611,490	598,860	22.9%
【その他資金収入の部】			
特定預金取崩収入		11,270,000	－
借入金収入		8,000,000	－
その他資金収入合計	0	19,270,000	－
【その他資金支出の部】			
什器備品購入支出	435,920		－
長期借入金返済支出	600,000	14,650,000	2441.7%
ローズリング債償還引当預金支出	3,900,000		－
その他資金支出合計	4,935,920	14,650,000	296.8%
当期収支差額	−2,324,430	5,218,860	324.5%
前期繰越収支差額	2,915,222	590,792	20.3%
次期繰越収支差額	590,792	5,809,652	983.4%

議案第５号　３ヵ年ビジョンに関する件

３ヵ年ビジョン「チャレンジ２０１２」

当法人の目的である「元気なばらのまちかのやを創造する」の実現に向けて、本年度から向う 3 ヵ年で達成する目標を掲げ、ローズリングかのやの総力を挙げてチャレンジします。

- 組織ビジョン

① 2012 年度までに会員数を１，０００人にする。

② 2012 年度までに大隅全域で民泊受入可能な登録世帯数を 100 件にする

- 人材育成ビジョン

① リーダー、マネジャーの通年研修制度をつくる

② ばら検定協会の設立

（本検定を通してばらのまちを支える環境作りを行う、オープンガーデンの推進）

- 交流人口増加ビジョン

① 大隅全域で着地型観光のビジネス化を行い、2012 年度入込人口を 700 万人にする。（H20 年度 531 万人）

② 海外誘客プロジェクトを立上げ、海外からのツアールートを創り、2012 年度の海外からの入込人口を 30 万人にする。

当該ビジョンを達成するために、当法人の統括管理委員会が中心となってマネジメント力を発揮し、会員は無論のこと関係団体、行政と協働して進めて参ります。

議案第６号　定款の変更に関する件

定款変更について

本総会において以下の定款変更を提案する

(ア) 目的の改訂

第３条

【現行文】

この法人は、すばらしい地域資源を最大限に活用し、自らの活動と情報発信を通じて、地域の自立と住民の活力を呼びおこす「元気なばらのまちかのや」を創造することを目的とする。

以下の改訂文に変更する

【改訂文】

当法人の目的は、わがふるさとの文化、歴史を学び、新しい価値を創造し、住民が助け合い、地域が連携して活動するコミュニケーションネットワークを通して、わくわく、ドキドキするような魅力ある情報を発信し、実践的な活動を通して次世代を支える地域のリーダーを育て、安全、安心で活力のある、心から住みたいと感じる「元気なばらのまちかのや」を創造することである。

(イ) 顧問及びアドバイザー等

第 20 条第 5 項として以下の任期に関する項目を追加する。

５　顧問及びアドバイザーの任期は理事の任期に準ずる。ただし再委嘱を妨げない。

(ウ) 総会の（機能）

第 24 条第 5 項 :「役員の職務及び報酬」を削除し、理事会議決（第 33 条）にする。

第 24 条第 8 項 :「事務局の組織及び運営」を削除し、理事会議決（第 33 条）にする。

(エ) 総会の（表決権等）

会員の表決権の委任方法については今回第 30 条第 2 項に電磁的方法を追加するが、「特定非営利活動法人促進法」の第 14 条の７の３で規定があるので、その確認として挿入する。

第 30 条第 2 項「―――又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる」に以下の事項を追加する。

２　代理人の委任は、メール・ファックス等の確認できる電磁的手法による方法でも有効とする。

(オ) 理事会の（権能）

第 33 条第 3 項「その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項」を第 5 項に移行する。

第 33 条に「役員の職務及び報酬」を第 3 項として追加する。

第 33 条に「事務局の組織及び運営」を第 4 項として追加する。

(カ) 理事会の定足数

現在定款の中に理事会開催の議決は理事総数の過半数となっているが、定足数の明記がないので今回これを定款に明記する。

理事会の（招集）第 35 条の４として下記を新たに追加する。

４　理事会は、理事本人出席及び委任された理事の合計が理事総数の過半数以上をもって成立する。

(キ) 理事の表決権の代理人依頼

現在の定款に理事の代理表決権の規定が明記されていないが、「特定非営利活動法人促進法」の第 17 条の２に「理事は、定款又は社員総会の決議によって禁止されていない限り、特定の行為の代理を他人に委任することができる」とあるので今回追認する形で定款に下記のように明記する。

【現行文】定款第 38 条２

やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

【改訂文】定款第 38 条２

やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。又は他の理事を代理人として表決を委任する事ができる。

運営組織改定と有給専任者について

1. 運営組織の設置について

当該法人に求められる社会的責任（受託事業による地域発展のリード役、地域産業、特に観光産業における地域連携のコア的役割等）が大きくなり、当該法人の果たすべき役割が地域に与える影響は益々大きくなっています。これまでの組織運営ではこれに対応する事は事実上不可能に近いことだと考えます。すでに必要な作業量は専務理事だけでこなせる限界を超えています。また、これからはボランティア活動だからと許されない作業が指数的に増加してきます。従って必要な事業を専属的な組織を作り、有給選任者を置いて的確な判断を持ってスピーディーに処理する為に、理事会に諮り本年 2 月より以下の形態で運営を行っています。

組織名	運営責任者	主たる役割
統括管理委員会	委員長 理事長　尾曲伸一	1. ビジョン・ロードマップ作成 2. 事業進捗定期監査 3. 事業運営改善提言 4. 共生・協働の検討・検証
まちづくり事業部会	部会長 理事　落司ひとみ	1. 当法人の主たる事業に関する事業を企画立案し、理事会に建議する。 2. 行政から委託を受ける事業の企画提案 3. 理事会承認された事業を関係者と連携して計画的に執行管理する 4. リーダー育成、研修事業
収益事業部会	部会長 理事　鎌田浩二	1. 当法人の活動資金を確保する収益事業を企画立案し、実施する。 2. 収益事業の執行管理を行う。 3. 地元業者との連携による商品開発、販売を行う。

2. 選任及び運営方法について

(ア) 理事長については任期中その役割を果たす。

(イ) 専任理事は理事会において、以下の要件を満たす理事の中から自薦、他薦で選任する。

① 1 週間に 1 回は事務所で、理事長、事務局とのミーティングに参加し、進捗報告と新規取組、提案等の協議を行う。

② 自ら専任事業部の事業計画を作成して組織を動かし、責任を持って実施する。

③ 理事会承認に必要な事項を建議し、承認の後に速やかに実施する。

(ウ) 任期について　　定款で定める理事の任期中（2 年）

2. 報酬について

- 当面は 3 名共に月額 10 万円（社会保険等はなし、給与のみ）

※本給与は定款にある報酬とは異なり、労働の対価としての給与であるので総会承認は不要のため（小林公認会計顧問に確認済み）理事会に諮り議決を得て実施した。

※勤務体系が非常勤であるため、社会保険等の加入要件は必須ではない。（同確認済み）

※報酬財源については以前から一人分減額になった分で補填できるので年間予算を大きく変更する必要はない。報酬額の増減は収益部門の課税の推移を見ながら再検討を行う。

「ローズリングかのや」会員名簿

{個人会員}　　184名 【50音順】

No.	氏　名	No.	氏　名	No.	氏　名	No.	氏　名
1	浅井　逸郎	51	鎌田　浩二	101	園田　俊二	151	益満　裕子
2	有園　淳子	52	上片野　幸子	102	田島　節子	152	町田　和子
3	有園　すみえ	53	上谷田　浩幸	103	立元　ヨリ	153	松倉　博
4	安楽　友起子	54	上谷田　美由紀	104	立元　良三	154	松田　早苗
5	NPO法人eすぺーす	55	上鶴　恭子	105	田中　元子	155	松田　守男
6	池添　みね子	56	川口　康治	106	ちいさな押し花館	156	松元　キヌ子
7	石躍　さとみ	57	河原　彰一	107	小さな宝物　郁	157	的場　律子
8	石原　千鶴子	58	河原　多美子	108	中馬　吉昭	158	mami
9	石原　早男	59	㈱河本商店	109	土田農場	159	丸国屋
10	井ノ上　和代	60	北井ブルーベリー園	110	土橋いちご園	160	丸野　里美
11	伊福　祥子	61	杵屋モンドール	111	ディビット・バークレィ・サンダーソン	161	三井　イツオ
12	伊牟田　ユリ子	62	木元　多香子	112	陶芸の里あすか	162	南大津　和代
13	岩元　篤典	63	清藤　正人	113	堂下　光志	163	南脇　ちよ子
14	岩元　研作	64	久木田真弓	114	徳田　浩	164	㈲美姫商会
15	岩元　めぐみ	65	葛迫　利絵	115	徳田　瑞穂	165	宮地　美保子
16	上清水　良江	66	久保　公美	116	徳永　秀人	166	宮薗　善隆
17	上園　圭子	67	久保　芙美子	117	鳥越 賢二	167	宮田　研一
18	上園　洋子	68	倉ヶ崎　あき子	118	中澤　良次郎	168	村井　桂子
19	上田　加津子	69	栗元　秀昭	119	中島　芳美	169	メイプル
20	上ノ原　弘子	70	黒木　千栄子	120	中田　明子	170	moco-world
21	上松　喜代美	71	郷原　聖哲	121	中附　義廣	171	八木　八千子
22	内別府　サミ子	72	郷原　裕子	122	永濱　札美	172	山崎　隆夫
23	うつわ　ぱれあな	73	工房FOREVER	123	中原　律子	173	山下　公豊
24	鵜藤　豊美	74	児島商事	124	永山　照美	174	山下　智健
25	大窪　千代子	75	古城　髙志	125	永山　眞子	175	山下　甫
26	大坂屋	76	児玉　照子	126	永吉　律子	176	山村　由起子
27	大隅バラ農場	77	児玉　みどり	127	和み窯	177	ゆうちゃんの元気しいたけ
28	太田　瑠璃子	78	後藤　真澄	128	ナチュラルライフ	178	豊　あゆみ
29	大竹山　幹男	79	近藤 善光	129	成松　律子	179	吉岡　真樹
30	大竹山　みす代	80	坂元　勝海	130	野方　百合子	180	吉村 田鶴子
31	大坪茶舗	81	坂元　博	131	野里ｶﾝﾅ起業グループ	181	米川　淳司
32	大山　正行	82	坂本　浩人	132	野田　敬一	182	米盛　徹郎
33	緒方茶工房	83	坂元　葉子	133	萩枝　文子	183	ル・シェル
34	岡留　美加子	84	迫田　しげ子	134	八反田　朱美	184	内山　道男
35	小川　智子	85	柴田　建作	135	原田　靖		
36	奥村　純一郎	86	嶋田　貞則	136	東元　七郎		
37	落司　ひとみ	87	ジミー入枝	137	久永　兼愛		
38	小原　祐一	88	下前原　稔	138	久永　トミ子		
39	尾曲　和子	89	森　淳	139	樋之口　まり子		
40	尾曲　祥子	90	森　小百合	140	樋脇　佐愛子		
41	尾曲　伸一	91	森　美智子	141	深水　とも子		
42	尾曲　由香	92	森岡　智恵美	142	福岡　孝子		
43	小山　宏	93	新地　タツ子	143	福満　輝男		
44	小山田　勉	94	新留　幸子	144	福元商店		
45	ガーデンラウムシバ	95	末弘　京子	145	福山　千代子		
46	甲斐　みつ子	96	鈴木　なち子	146	藤野　節子		
47	鹿児島総合食品	97	鈴木　三枝子	147	淵之上　治子		
48	加治屋　寅夫	98	生活改善農産加工班	148	別府　ひとみ		
49	加藤　かおり	99	誠花堂	149	前原　浩幸		
50	㈱鹿屋大隅地域おこし公社	100	園内　隆美	150	益満　恭子		

{団体会員}　　30団体 【50音順】

No.	氏　名	No.	氏　名	No.	氏　名	No.	氏　名
1	㈱アイロード	11	株式会社カンネツ	21	㈱南方新社		
2	㈱東農園	12	久保醸造合名会社	22	日本有機㈱		
3	アネット㈲	13	㈲グリンエスコ	23	㈲ヌーハウス		
4	おおすみ食品	14	㈲高山三幸観光	24	花岡あばてんね会		
5	オリオンギフト	15	㈱三和グリーン	25	冨士屋製菓㈲		
6	鹿屋市観光協会	16	ｾｲｶ食品㈱鹿屋営業所	26	㈲古市商会		
7	鹿屋商工会議所女性会	17	㈱綜合印刷	27	㈲ベルかのや		
8	鹿屋地区びわ部会	18	㈱垂水温泉鶴田	28	株式会社ベルキャンバス		
9	かのや緑化協同組合	19	坪水醸造㈱	29	㈱マイクロサイエンス		
10	㈲環境システム	20	農事組合法人南州農場	30	㈲芳恵丸		

{友の会会員}

No.	氏　名
1	迫田 恵子
2	東　岩己

2名 【50音順】

{ボランティア会員}

No.	氏　名
1	上谷田　和幸
2	上谷田　敏幸
3	上谷田　真幸
4	上谷田　幸奈
5	加藤　祐樹
6	加藤　優奈

6名 【50音順】

※氏名の公表を望まない方は、事務局へお申し出ください。

特定非営利活動法人ローズリングかのや理事・監事・顧問等名簿

	役　　職	氏　　名	備　　考
1	理 事 長	尾 曲　伸 一	任期：H21.6.1～23.5.31
2	副理事長	萩 枝　文 子	任期：H21.6.1～23.5.31
3	副理事長	山 﨑　隆 夫	任期：H21.6.1～23.5.31
4	副理事長	原 田　靖	任期：H21.6.1～23.5.31
5	専務理事	丸 野　里 美	任期：H21.6.1～23.5.31(事務局長兼務)
6	理　　事	黒木　千栄子	任期：H21.6.1～23.5.31
7	理　　事	中 島　芳 美	任期：H21.6.1～23.5.31
8	理　　事	吉 原　隆	任期：H21.6.1～23.5.31
9	理　　事	河原　多美子	任期：H21.6.1～23.5.31
10	理　　事	落司　ひとみ	任期：H21.6.1～23.5.31
11	理　　事	上谷田　浩幸	任期：H21.6.1～23.5.31
12	理　　事	末 弘　京 子	任期：H21.6.1～23.5.31
13	理　　事	河 原　彰 一	任期：H21.6.1～23.5.31
14	理　　事	三 井　五 男	任期：H21.6.1～23.5.31
15	理　　事	徳 田　浩	任期：H21.6.1～23.5.31
16	理　　事	近 藤　善 光	任期：H21.6.1～23.5.31
17	理　　事	鵜 瀬　芳 昭	任期：H21.6.1～23.5.31
18	理　　事	米 永　淳 子	任期：H21.6.1～23.5.31
19	理　　事	松元　キヌ子	任期：H21.6.1～23.5.31
20	理　　事	大窪　千代子	任期：H21.6.1～23.5.31
21	理　　事	鎌 田　浩 二	任期：H21.6.1～23.5.31
22	理　　事	鈴木　三枝子	任期：H21.6.1～23.5.31
23	理　　事	郷 原　聖 哲	任期：H21.6.1～23.5.31
24	監　　事	窪 田　伸 一	任期：H21.6.1～23.5.31 （南九州税理士会鹿屋支部長）
25	監　　事	野 田　敬 一	任期：H21.6.1～23.5.31
	顧　　問	坪 水　徳 郎	鹿屋市観光協会会長
	顧　　問	原 口　泉	鹿児島大学法文学部教授
	アドバイザー	上 神　敦 子	中央大学理工キャリア支援課
	アドバイザー	ディビッド・B・サンダーソン	英国庭園デザイナー

ローズリングかのやとは・・・

鹿屋をばらいっぱいのまちにしよう！を
スローガンに『ばら』をまちのシンボルにし、
『ばら』に関わりながら市民一人ひとりがつながり、
人の輪を広げ、住む人・訪れる人の愛するかのやに
しようとの願いを込めて「ローズリングかのや」と
命名しました。

特定非営利活動法人（NPO法人）ローズリングかのや
〒893-0053 鹿児島県鹿屋市浜田町1250番地
TEL：0994-41-8718　FAX：0994-41-8719
E－Mail：rosering@cap. ocn. ne. jp
http：//www. baranomachi. jp
http：//www. rosering. jp